

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜清流高等特別支援学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年10月20日(金) 10:00~12:00
- 3 開催場所 岐阜清流高等特別支援学校 会議室
- 4 参加者

会長	清水 達郎	芥見南自治会連合会 会長
副会長	松本 和久	岐阜聖徳学園大学教育学部 教授
委員	五十川勝也	芥見東身体障害者福祉協会 会長
	伊藤 知子	株式会社十八楼 女将(欠席)
	井上 友紀	芥見東自治会連合会 会計
	大倉 美江	すまいる工房株式会社 管理者
	後藤 美恵	岐阜清流高等特別支援学校 PTA 会長
	林 武	岐阜県老人福祉施設協議会 副会長
学校側	乙津真由美	校長
	三輪 孝司	教頭
	横田 真	部主事
	北川 百合	教務部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校評価(保護者および生徒対象アンケート)について

意見1: 生徒対象のアンケート「19 毎日、学校に行くのが楽しい」で否定的な回答だった生徒について、無記名なので難しいかもしれないが、手だてを講じられると良い。

⇒全職員で情報共有し、いろいろな機会を設けて吸い上げていく。一定数そういう気持ちの生徒がいることを意識し、日頃、生徒に接するときに様子や表情を見ていく。

意見2: 保護者対象アンケート「17 学校の授業内容や進度は、生徒の実態に即している」で一番肯定的でない回答が多い。可能であれば保護者がどのように思ってるか知りたい。

⇒懇談時に、授業の進度等で悩みはないか、授業についていけているか等、担任から聞いてもらうようにする。

意見3: 保護者の「わからない」の回答について、生徒が学校の様子を家庭で話しているか? いろいろな家庭があるが、生徒が話すかどうかで回答が違ってくるのではないか。

(2) 専門コース新製品の価格決定について

○食品コース: 新製品 パン、弁当、クッキー、清流祭販売セット

○工業コース: 新製品 スマホスピーカー(船形 500円、箱型 400円)

○喫茶サービス：清流祭用カフェオレ、アイスカフェオレ

意見1：製品にロゴマークがあると、宣伝になり、ブランド化できるようになるのではないかな。

※代表生徒との懇談

意見1：「中学時代孤独を抱えながらも、清流に来て友だちができた」「親孝行したい」「自立したい」と言えること、素晴らしくて感心した。高等特別支援学校の目標が具現化されている。

意見2：本校へ来て変わったのは、自分の努力もあっただろうし、友だちとの関係、先生たちとの関わりがあったからだと思う。「変わる」ということを止めないでほしい。「変わる」ということ覚えておいてほしい。卒業後辛いことがあったら、友だちに愚痴を言ったり、学校に来て先生にも愚痴をもらしたりして、心の健康やバランスを取ってほしい。学校生活を謳歌して、卒業を迎えてほしい。

意見3：「一日の疲れは入浴で。一週間の疲れは趣味で」
50歳、60歳まで働き続けるために必要。仕事も趣味も充実させてほしい。清流で学んだことに自信をもって4月から力強く頑張ってもらいたい。

(3) 学校経営計画の見直しについて

○校訓・学校教育目標

意見1：見直しされた学校教育目標に「高い志をもち」という言葉が一番に来ているのが良い。「学びに向かう力」「人間性」につながる言葉である。

○学校経営の目標と重点的な取組

意見1：「すぐメール」をさらに有効活用できると良い。紙媒体も簡素化されてきている。

6 会議のまとめ

・専門コース新規製品の価格設定について全委員より承認が得られた。

・学校経営計画の見直しについて全委員より承認が得られた。

○代表生徒（3年生4名）との懇談を行った。生徒の学校に対する思いや、将来に向けての決意等を直接聞いていただくことができた。

○多くの肯定的なご意見をいただくことができた。応援していただけることに感謝し、本協議会でいただいた意見を踏まえ検討し、後期の実践に繋げていく。